

なおみの  
さわやか  
エッセー



寝るか、片付けるか、それが  
問題だ - その後

先月のこのコーナーで、忙しさのあまり家が片付かず、それがストレス。なのに今日も寝落ち…そんなエッセーを書きました。その後、「かわいそうに」「言ってくれば片付けに行っておきたい」そんなありがたい言葉をいくつもいただきました。

ありがとうございます。そして、心配をおかけしてごめんなさい。ほんの自虐ネタのつもりで書いたものが、自分の想定を超えて皆さんに心配をおかけしてしまい、なんとも申し訳ない気持ちです。

最近では、「散らかっていても死にはしない」くらいの開き直りで、安心して寝落ちする毎日なのも事実です。

そして、なにより共産党の都議会議員という仕事は、そんなストレスを吹き飛ばしてくれる瞬間がたくさんあります。

都民の皆さんと力を合わせて要求を実現できた時、困っている方の相談で力になれたとき、都議団のみんなと共に喜び合うとき…。

ですから、心配しないでください。  
家が片付かなくても、私は今日も元気です。



# 都パートナーシップ制度 実施

## 和泉都議質問がみのる



11月1日から東京都パートナーシップ制度が始まりました。これは和泉都議が昨年九月都議会での代表質問で「パートナーシップ制度は、当事者や運動団体の方々から一刻も早い具体化をもとめる声があがっている。この声を受けとめ速やかに実施すべきです」ともとめたことが実現したものです。

### パートナーシップ制度とは

東京都パートナーシップ制度は「双方または一方が性的マイノリティー（LGBT等）であり、人生のパートナーとして相互の人権を尊重し、日常の生活において継続的に協力し合うことを約束した二人」からの宣誓・届出を都が受理したことを証明（受理証明書を交付）する制度です。発行された受理証明書は都営住宅の申し込みなど都の都民サービス等の利用に活用できるとともに、性的マイノリティーの人たちが困っていること、例えば住宅を賃貸・購入する際に性的マイ

### 誰もが自分らしく生きられる東京へ

日本共産党は党綱領に「ジェンダー平等社会をつくる」「性的指向と性自認を理由とする差別をなくす」と掲げています。

こういう立場や分野の問題であれ、マイノリティー（少数者）の人たちが肩身の狭い思いで生活せざるを得なかったり、差別や偏見のためにありのままの自分を肯定できなかったりすれば、健全な社会とはいえません。マイノリティーの人たちが暮しやすい社会ほど、すべての人にとって暮らしやすい社会といえます。

この九月都議会最終日の討論に立った日本共産党アオヤギ都議は、パートナーシップ制度の開始について「誰もが自分らしく生きられる東京へ、制度の実施を喜び合いたいと思います」と述べました。

### 和泉なおみの 幹事長日誌



10月6日 木

議会運営委員会理事会・委員会

10月7日 金

都議会第3回定例会閉会

談話発表

10月9日 日

予算懇談（平和祈念館建設をすすめる会・おりづるの子）

10月13日 木

予算懇談（東京都町会連合会）

10月18日 火

情報公開条例の重大な違反に関する記者会見

公営企業決算質疑

10月24日 月

公営企業決算質疑

緊急着陸を繰り返すオスプレイの飛行中止を求める申し入れ

10月25日 火

私学振興予算要望期成大会

10月26日 水

公営企業決算質疑

11月2日 水

コミュニティバス調査の記者会見

英語スピーキングテストに反対する議員連盟総会

日本共産党都議会議員

和泉なおみの

生活・年金・法律相談

2022年12月14日(水)午後2時

より

事前にお電話ください